

受託業者を特定するための評価基準

別紙1

●実績・体制

評価項目	評価の着目点		技術点		
	評価項目	判断基準	評価点	小計	合計
業務実績		過去5年間に、同種業務の実績が3件以上あるか。	※※	10	20
業務体制		実施体制が本業務の目的に合致し、充実した体制になっているか。		10	

●業務の実施方針

評価項目	評価の着目点		技術点		
	評価項目	判断基準	評価点	小計	合計
業務理解度		目的、条件、内容の理解度が高い場合に優位に評価する。	※※	10	30
実施手順		業務実施手順を示す実施フローの妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	
		業務量の把握状況を示す工程計画の妥当性が高い場合に優位に評価する。		10	

●企画内容の評価

評価テーマ	評価の着目点		技術点		
	評価項目	判断基準	評価点	小計	合計
内容に対する評価	ユーザービリティ	①表示画面上の項目配置や、色使い等、誰もが使いやすいデザインであるか ②利用者およびサービス管理者双方にとってわかりやすい操作性が確保されているか	※※	6	30
	情報管理・障害対応	①取得した個人情報適切に管理する体制がとられているか ②障害発生時の対応体制が適切に構築されているか		6	
	利用者向け機能	①自治体および自治会から配信された回覧が閲覧できるか また、回覧の内容をデータとしてダウンロードできるか ②配信した情報の閲覧状況をサービス管理者および自治会内の管理者が確認できるか ③配信したファイルデータをシステム内に格納・保管できるか ④緊急時の安否確認に利用可能な機能が実装されているか ⑤自治体からの災害情報および避難情報の配信が可能か		12	
	マニュアル作成・研修体制	①自治体職員だけでなく、住民にとってわかりやすいマニュアルが作成できているか ②要望に応じたシステム説明会の開催など、システムの利用に関する細やかなサポート体制が構築されているか。		6	

●導入費用に関する評価

評価項目	評価の着目点		技術点		
	評価項目	評価基準	評価点	小計	合計
導入費用		費用見積の内容が提案内容と整合性がとれており、経費積算が明解で無駄がなく、適正なものとなっているか、業務コストの妥当性を評価する。 なお、業務量の目安として示した限度額を超えている場合、又は、見積項目が不足している場合は特定しない。	※※	20	20

※※の評価値は、審査員による5段階評価(100%・75%・50%・25%・0%)を行い、その平均点により算出する。

合計				100	
----	--	--	--	-----	--